

## 小学校 第5学年 道徳学習指導案

1 主題名 わかり合う心 2-(3)信頼・友情

2 資料名 「飼育小屋の前で」(出典 東京書籍)

3 主題設定の理由

- 人は多くの人々とのかかわりの中で生きている。そして、友達関係は互いに相手の存在を認め、信頼し、共に向上することを願って支え合い、助け合うことによって進展する。しかし、第5学年は、これまで以上に友達を意識し、やや偏った仲の良い友達との絆を深めていく時期であるため、だれとでも、お互いの立場や思いを十分に伝え合うまでには至らず、男女の友情や信頼関係を築くことができない場合がある。そこで、違いを認め合い、相手の立場や気持ちを理解しようとするのが、友情には大切であることに気付かせることが求められる。このことは、進んで人間関係を広げていこうとするこの時期の子どもたちの道徳的実践意欲を養うことにつながり、大変意義深い。
- 本学級の子どもは明るく、行事や教科等の学習において何かに挑戦しようとする友達に対して励ましの言葉をかけることができる。特に、行事のように全員で同じ目標に向かって取り組むときは、数名の子どもがムードメーカーとなって、男女関係なく協力することができる。しかし、日常生活の中では、「自分さえよければ」という自己中心的な考えによる言動をする場面がある。また、相手の立場や自分には見えていないところでの行動を理解しようとせず、言い争いになっている場面もある。そのため、このような子ども達に本主題を通して、自分自身の友達との関わり方を見つめさせ、相互に信頼し、高め合うことのよさをとらえさせることで、自分自身の生き方にいかしていくことができるようにすることは大変意義深い。
- そこで、本主題の指導にあたっては、友達についてのアンケートをもとに、「不満に思っていること」「意外な一面」を知らせ、めあてをつかませる。その際、アンケートをもとに、友達と仲良くしたいという気持ちがあるが、男女や一部の人とは仲良くできていないことに気付かせる。次に、資料「飼育小屋の前で」を読み、美江の気持ちを話し合わせる。その際、美江の気持ちに共感させるため、発問1「飼育小屋の掃除をした後、サッカー大会のポスターを見た美江はどんな気持ちだったでしょうか」を行う。そして、違いを認め合い、相手の立場や気持ちを理解しようとするのが大切であることに気付かせるために、発問2「飼育小屋の前で、正夫の行動を見たとき、美江はどんなことを考えたでしょうか」を行う。さらに、進んで人間関係を広げていこうとする道徳的実践意欲を養うために、「男女で協力して活動するときに大切な心はどんな心か」を問い、今日の学習を振り返って考えたことを書かせる。

## 小学校 第5学年 道徳

資料名	飼育小屋の前で	出典	東京書籍	主題名 (価値項目)	わかり合う心 2-(3) 信頼・友情
ねらい	違いを認め合い、相手の立場や気持ちを理解しようとするのが、友情には大切であることに気づき、進んで人間関係を広げていこうとする道徳的実践意欲を養う。				
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケートをもとに、友達と仲良くしたいという気持ちはあるが学級の友達全員と仲良くできていないという課題に気付かせることでめあてを意識させる。</li> <li>○ 協力するために大切なことを考えさせ、友達を大切にしようという気持ちを育てる。</li> </ul>				
学 習 の 流 れ			子どもの反応		
<p>1 友達についてのアンケートをもとに、「不満に思っていること」「意外な一面」を知らせ、めあてをつかむ。</p> <p>○ 友だちとの仲を良くしたいという気持ちがあるが、男女や一部の人は仲良くできていないことに気付かせる。</p>			<p>&lt;不満に思っていること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子は人の話を聞いていない。</li> <li>・ 女子はいちいち細かい。文句が多いと思う。</li> </ul> <p>&lt;意外な一面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子と話が合う。</li> <li>・ 男子はやさしい。</li> <li>・ 女子はがんばっている。</li> <li>・ 女子はしっかりしている。</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて 男女で協力して活動するとき大切な心について考えよう。</div>					
<p>2 資料「飼育小屋の前で」を読み、話し合う。</p> <p>(1) 発問1「飼育小屋の掃除をした後、サッカー大会のポスターを見た美江はどんな気持ちだったでしょうか」</p> <p>(2) 発問2「飼育小屋の前で、正夫の行動を見たとき、美江はどんなことを考えたでしょうか」</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子は自分勝手だ。</li> <li>・ どうして私だけがしないといけないの。</li> <li>・ 応援なんて行く気がしない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとう。</li> <li>・ 私よりもうさぎのことを考えていたのかも。</li> <li>・ 自分の方が自分勝手だった。</li> <li>・ ごめんね。正夫のこと知らなかった。</li> </ul>		
<p>3 今日の学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) まとめ「男女で協力して活動するとき大切な心はどんな心か」</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わかり合う</li> <li>・ 相手のことを認める</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">まとめ 自分から近づき、相手と心を通わせようとする心が友達の第一歩。</div>					
<p>(2) 今日の学習を振り返って考えたことを書く。</p> <p>○ 今までの経験を振り返り、男女が協力し、助け合う心地よさを感じる。</p> <p>(3) 教師の説話を聞き、全員が協力していこうとする気持ちを高める。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子も女子もちがうところはあるが、仲良くなれる。もっと男子のことを考えて行動しよう。</li> <li>・ 協力するときは、相手のことを考え行動しよう。</li> </ul>		

『飼育小屋の前で』

めあて  
男女で協力して活動するときに大切な心について考えよう。

男子の意外な一面

- ・話が合う
- ・やさしい

男子への不満

- ・話の途中で口をはさむ
- ・うるさい

女子の意外な一面

- ・頑張っている
- ・しっかりしている

女子への不満

- ・いちいち細かい
- ・文句が多い

少年サッカー大会  
十月三十日（日）九時開始  
市営グラウンド  
◎おうえんよろしく

正夫 美江


男子は自分勝手だ。  
・どうして私だけがしないといけないの。  
・応援なんて行く気がしない。

意外な一面

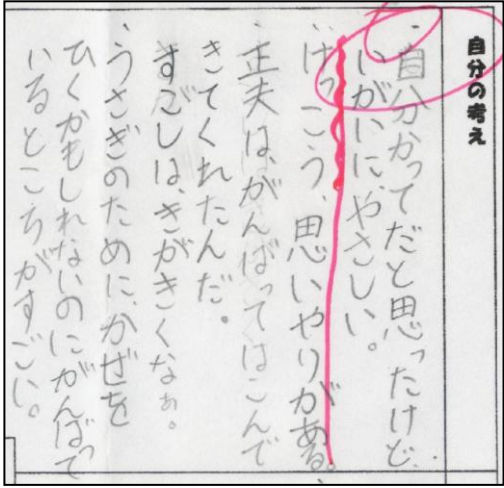
思ってもいない

- ・ありがとう
- ・私よりもウサギのこと考えていたのかも。
- ・自分のほうが自分勝手だった。
- ・ごめんね。↓正夫のこと知らなかった。

自分から近づき、相手と心を通わせよう  
とする心が友達への第一歩



## 小学校第5学年道徳 指導の実際

資料名	飼育小屋の前で	出典	東京書籍	主題名 (価値項目)	わかり合う心 2-(3)信頼・友情
ねらい	違いを認め合い、相手の立場や気持ちを理解しようとするのが、友情には大切であることに気づき、進んで人間関係を広げていこうとする道徳的実践意欲を高める。				
学 習 の 流 れ					
1 友達についてのアンケートをもとに、めあてをつかませた。					
(1) 「クラスの友達について普段思っていること」のアンケート結果の中でも「不満に思っていること」「意外な一面」を知らせた。					
<アンケートの結果：不満に思っていること> <input type="radio"/> 男子は人の話を聞いていない。 <input type="radio"/> 女子はいちいち細かい。文句が多いと思う。 <input type="radio"/> 仲の良い人は多いと思う。 <input type="radio"/> 男女では、仲良くできていない。 <input type="radio"/> 男女がもっと仲良くなったらいいと思う。 <input type="radio"/> 全員と仲良くなったらいいと思う。			<アンケートの結果：意外な一面> <input type="radio"/> 男子と話が合う。 <input type="radio"/> 男子はやさしい。 <input type="radio"/> 女子はがんばっている。 <input type="radio"/> 女子はしっかりしている。		
子どもは、この結果を聞いて、男女がお互いに不満だけをもっているのではないことに気付くとともに、男女関係なく学級の友達全員と仲良くできておらず、仲良くしなければいけないことに気付いたようであった。					
(2) めあてを板書した。					
めあて 男女で協力して活動するとき大切な心について考えよう。					
2 資料「飼育小屋の前で」を読み、話し合わせた。					
(1) 発問1「飼育小屋の掃除をした後、サッカー大会のポスターを見た美江はどんな気持ちだったでしょうか」を提示した。ここではノートには記入する時間は取らず、口頭で発表させた。					
<input type="radio"/> いつも女子に仕事を押しつけて、だれがおうえんになんか行くもんですか。 <input type="radio"/> 男子は自分勝手だ。くやしい気持ち。 <input type="radio"/> 自分ばかりといういやな気持ち。					
(2) 発問2「飼育小屋の前で、正夫の行動を見たとき、美江はどんなことを考えたでしょうか」を提示した。子どもは、次のように考え、道徳ノートに記入させ、その後発表させた。					
<input type="radio"/> 自分勝手だと思ったけど、いがいにやさしい。けっこうおもしろいやりがある。 <input type="radio"/> 実は心配してくれていたんだ。 <input type="radio"/> 正夫はがんばって運んできてくれたんだ。少しは気がきくなあ。 <input type="radio"/> かぜをひくかもしれないのに、男子があんなことをするなんてすごい。 <input type="radio"/> 練習でつかれているのに、2回もうさぎの世話をするなんてすごいな。 <input type="radio"/> 男子はもっと自分勝手だと思ってたけど、うさぎのことを思ってるんだなあ。					
【子どものノートから】					

3 今日の学習を振り返らせ、まとめをした。

(1) 「男女で協力して活動するとき大切な心はどんな心か」を発問した。

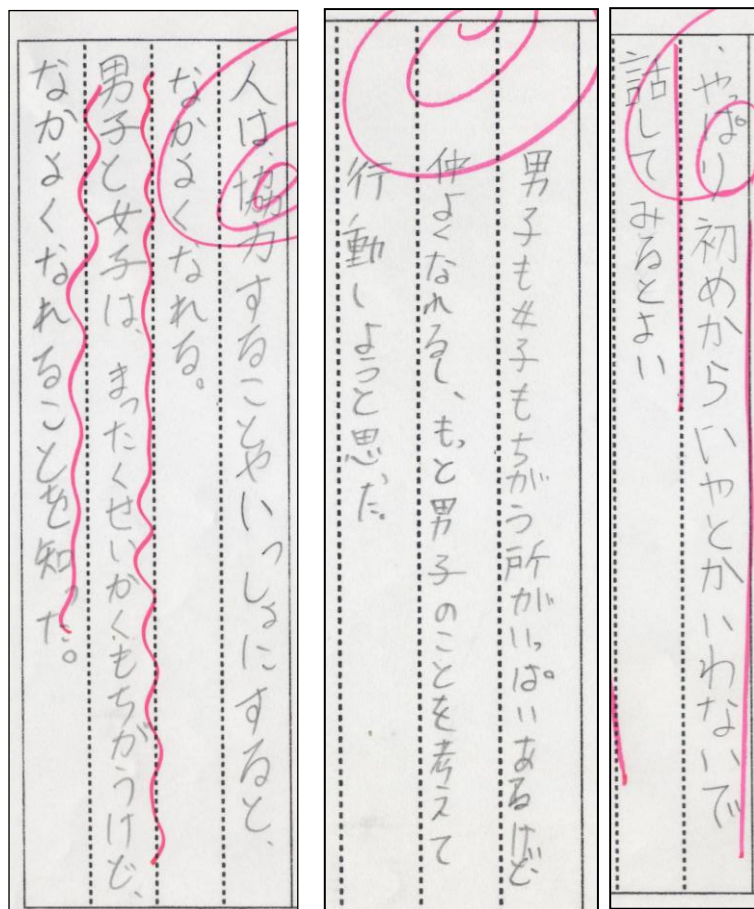
子どもから「わかり合う」「相手のことを認める」などが出てきたので、次のようにまとめをした。

まとめ 友達と協力するときには、自分から近づき、相手と心を通わせようとする心が友達の第一歩。

(2) 今日の学習を振り返って考えたことについてノートに書かせ、発表をさせた。

<子どものノートの記述>

- 男子も女子もちがうところがいっぱいあるけど、仲良くなれるし、もっと男子のことを考えて行動しようと思った。
- 人は協力することや何かを一緒にすることで仲良くなれる。男子と女子はまったく性格もちがうけど仲良くなれることを知った。
- やっぱり、はじめから「いや」とか言わないで話しをしてみるとよい。今までは男女のことを考えてなかったけど、これからは考える。
- 「男子と女子で性がちがうから心と心を通わせよう」という考えではなく、協力するときは第一に相手のことを考え行動するということがわかった。



【まとめ後の子どものノートの記述から】

(3) 最後に、自然教室のときは男女関係なく、みんな協力してカレーを作っていたことと運動会で男女関係なく、一生懸命に応援したり、協力して競技したりしたことを話し、そのときどんな気持ちだったかを思い出させた。